# ｋｎｇＴｅｒｍ　V1.0 取扱説明書



２０１０年９月７日　　　　　　株式会社 永井

## １．スタート

kngTerm はインストール不要です。
kngTerm.exe を起動してスタートします。

画面の端をドラッグすると　大きさや位置が調整できます。
設定メニューを使って　最初に通信条件などを設定してください。

不要になったら　削除して下さい。　アンインストールも不要です。

【説明】＜　シリアル通信ターミナルの機能　＞
・シリアルポートで受信した文字を　ターミナル画面に表示します。
・キーボードから入力した文字を　　シリアルポートから送信します。
この２つをリアルタイムに実行するのが　シリアル通信ターミナルの基本的な機能です。

## ２．設定メニュー

画面左上の「設定」をクリックして　設定メニューを開きます。

１）通信ポート
COM1 ～ COM8　を選択します。　これら以外も　「その他」で設定可能です。

２）通信速度　[ bit/sec ]
1200 ～ 38400　を選択します。　これら以外も　「その他」で設定可能です。

３）パリティ　　　　　　　　　リストの中から　一つを選択します。

４）データ長 [ bit ]　　　　　リストの中から　一つを選択します。

５）ストップビット　[ bit ]　　リストの中から　一つを選択します。

６）ローカルエコー
ＯＮ　の場合　送信データも　受信データも画面に表示されます。
ＯＦＦの場合　受信データのみ画面に表示されます。

７）エンコーディング
シリアルポートを使った送受信に使用する文字コードを　ASCII, UTF-8, Shift-JIS から選びます。これら以外の色々な国の文字コードは「その他」メニューから　50000 未満のコードページを番号で指定することができます。　コードページ番号やそれに伴う機能については .net Framework などのマニュアルを参照して下さい。

８）オプション／ DiscardNull
true を選択すると　受信データから　0x00　(値０の受信データ) を除外します。
falseを選択すると　すべてのデータを受信します。

９）オプション／ ErrorReplace
受信エラー発生時の表示文字コードを指定します。　０－２５５の整数が指定できます。

１０）オプション／受信モード
テキストまたは１６進数モードを選択します。

【説明】テキストモードでは文字列 ″ABC″ を受信すると画面に ″ABC″と表示されます。
16進数モードでは文字列 ″ABC″ を受信すると画面に ″41 42 43″と表示されます。

１１）オプション／送信モード
テキストまたは１６進数モードを選択します。

【説明】テキストモードではキーボードで ″ABC″ と入力すると　文字列 ″ABC″ が送信されます。
16進数モードではキーボードで ″414243″と入力すると　文字列 ″ABC″ が送信されます。

１２）ターミナル設定／背景色
カラーダイアログを使って　ターミナル画面の背景色を設定します。

１３）ターミナル設定／文字色
カラーダイアログを使って　ターミナル画面の文字色を設定します。

１４）ターミナル設定／フォント
フォントダイアログを使って　ターミナル画面の文字フォントを設定します。

１５）ターミナル設定／画面右端
画面に表示する文字列が画面右端に来たときに　折り返すかどうかを指定します。
折り返さないを選択すると水平スクロールバーが表示されます。

１６）自己紹介
このソフトウエア kngTerm の自己紹介を表示します。

１７）設定を保存する
ここをクリックするとその時点の　すべての設定内容が保存され、次回 kngTerm を
スタートしたときに　その設定を復元します。

＜　保存される内容　＞
・設定メニューの各種選択
・転送メニューの送信オプション
・画面の位置と大きさ

## ３．ファイル転送メニュー

１）転送モード／テキストファイル
受信ファイルは文字コード　UTF-8 で書込まれます。
送信ファイルは文字コード　UTF-8, Unicode, ASCII が使用できます。
送受信ともシリアルポートはエンコーディングで指定した　文字コードを使用します。

２）転送モード／バイナリファイル
送信ファイルも受信ファイルもバイナリデータのファイルとして読み書きされます。
シリアルポートでのエンコード／デコードは行われずに、　バイナリデータがそのまま
送受信されます。

３）ファイル受信開始
受信ファイル名を指定すると　ファイルの受信作動を開始し、「ファイル受信停止」
をクリックするまで　続けます。　この間は受信したデータが指定のファイルに書込まれ
ます。　ファイルの書き込みは追記モードで実行されるため、指定ファイルが無い場合は
新たに作成され、　有る場合はそれに追記されます。

４）ファイル受信停止
ファイル受信作動を停止します。

５）ファイル送信
送信ファイル名を指定するとそのファイルを読み出し　シリアルポートから送信します。
ファイル送信作動については　以下の送信オプションが指定できます。

６）送信オプション／文字間待ち時間　[ msec ]
ファイル送信時　１文字ごとにこの指定時間待ちます。　　０は待ち無しとなります。

７）送信オプション／改行後待ち時間　[ msec ]
ファイル送信時　改行文字送信後にこの指定時間待ちます。０は待ち無しとなります。

８）送信オプション／改行文字
７）の作動を行う改行文字コードを指定します。　０－２５５の整数が指定できます。

９）送信オプション／改行文字の送信
「送信しない」を選択すると、７）の作動は文字を送信せずに時間待ちのみとなります。

１０）送信オプション／改行待ち文字列　（ バイナリファイル送信では使用できません。 ）
ここに文字列を指定すると　改行後その文字列の受信まで　最大「改行後待ち時間」の間
待ちます。　文字列を待つ場合の改行後待ち時間に限り 100msec 以上を指定して下さい。
指定の文字列を受信すると待ちを中止し　すぐに次の行を送信します。
プロンプトを受けてから　次の行を送信する場合などに使用します。
ここに空文字列が指定されている場合は　改行後はいつも指定時間待ちます。

## ４．ＩＭＥ

このメニューをクリックすると　ＩＭＥ入力Ｂｏｘが表示され、送信文字列をＩＭＥを
使って編集・作成することが　できるようになります。

ＩＭＥ入力ＢｏｘではＩＭＥの操作方法で文字列を編集します。ＩＭＥで文字列を確定した
後にエンターキーを入力すると、　確定した文字列の後にキャリッジリターンを追加して
シリアルポートから送信します。　またＩＭＥで文字列を確定した後に下向き矢印または
Ctrl-C を 入力すると　確定した文字列のみがシリアルポートから送信されます。

ＩＭＥ入力Ｂｏｘ表示中に　メニューのＩＭＥをクリックするか、ＩＭＥ入力Ｂｏｘ内で
Ctrl-C を入力すると　ＩＭＥ入力Ｂｏｘが消えます。

## ５．閉じる

このソフトウエアを終了します。

## ６．kngTerm_setup.dat について

「設定を保存する」をクリックするとその時点の設定内容が kngTerm_setup.dat に
書き込まれます。

kngTerm.exe のスタート時に kngTerm_setup.dat が同じフォルダ内に有る場合は
その内容を読み込んで設定を再現します。　無い場合は初期設定でスタートします。

kngTerm_setup.dat の内容が不正な場合　正しくスタートできないことがあります。
その場合は kngTerm_setup.datを削除してから　スタートして下さい。

## ７．その他

ＶＴ１００などのターミナルエミュレータ機能は　ありません。

垂直スクロールバーによるバックスクロールで　それまでに受信した文字を　20000文字
まで読み出すことができます。

## ８．作動環境

このソフトウエアは　.NET Framwork 3.5 Client Profile でビルドしています。
Microsoft Windows VIST と　Windows 7 で　作動を確認しています。

kngTerm のご使用は　お買い上げ１製品につき　パソコン１台限定でお願いします。
また本マニュアルの配布、一部コピーや引用も　ご遠慮下さい。

なおこのソフトウエアに関して　ご質問、ご希望、ご感想などあれば　ご遠慮なく
下記まで　ご連絡ください。

以上

＜制作元＞

株式会社 永井　／　永井裕之

Home page : http://www.eonet.ne.jp/~kng/